

まちの日常を動かすのは「人の力」

～地域交通を支えるドライバーという存在～

年間 **45** 万人が利用する地域交通

市内では、利用者の多様なニーズに合わせて複数の交通サービスが連携して運行されています。



路線バス

5路線を運行。
生活路線を中心に担う。



キャン・バス

4路線を運行。観光名所
を周遊する観光路線を
中心に担う。



のりあい号

自宅近くから目的地ま
で、地域の移動を面的に
支える乗合サービス



一般タクシー

任意の時間・目的地へ
移動できるドアツードア
の個別交通

ベテランドライバーの退職が進む一方、新たな担い手の確保は厳しい状況にあります。
このままドライバー不足が続いた場合、日常の移動に以下のような影響が生じる懸念があります。

路線バス等の減便・最終便繰り上げ

日中の運行間隔の拡大や、夜間便の見直しの可能性

のりあい号・タクシーの予約枠縮小

希望時間での予約の取りづらさや、待ち時間の増加

どんなに便利な車両や運行ルートが整っていても、ハンドルを握る「ドライバー」の存在がなければ、地域の移動を維持することはできません。通院や通学といった日々の当たり前を守るために、現場ではどのような人たちがどのような想いで働いているのでしょうか。

次ページへつづく

まちと人をつなぐ、ドライバーインタビュー

前職や年代もさまざまなプロドライバーの「リアルな声」と「働き方」をご紹介します。